

おごおり 議会だより

No.206

令和8年6月号



第50回 小郡市消防団入退団式 新入団員宣誓

- P 2～5 議会の動き
- P 6～14 市政を問う・一般質問15人
- P 15、16 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案件
6月定例会の会期日程（予定）、編集後記

令和8年度当初予算（一般会計）

313億4,700万円
 （過去最大）

前年度当初予算比46億3,200万円の増（+17.3%）

令和8年度の主な取り組み

▶ アスレチック広場遊具全面リニューアル事業

総額 **7,000万円**

遊具の全面リニューアル
 遊具の更新は、こどもたちが楽しみながら積極的に体を動かせる運動プログラムを導入



▶ 市ホームページリニューアル事業

総額 **2,305万円**

見やすく、分かりやすくリニューアル
 行政情報発信機能を強化



全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、
 3月2日、3日、4日、5日の4日間、審査を行いました。
 委員間討議の中で出た議論を踏まえ、以下の点を委員長として報告しました。

☆がん検診委託料について

担当課より、がん検診の案内の方法を個別の郵送から広報折込での周知に切り替えるとの説明がありましたが、委員間討議の中で、「もう少し丁寧に受診率を上げるような政策を考えてほしい」「健診(検診)案内の方法について再度検討した方がよい」などの意見が出ました。

意見を踏まえ、「健診(検診)案内の方法について、状況を注視しながら、丁寧に案内することを再度考え受診率が下がることがないように十分配慮をする」ことを委員長報告として市に求めました。

都市経済常任委員会企画 議員研修会

テーマ 流域治水の取組について

令和8年1月19日国土交通省
筑後川河川事務所より講師を迎え議員研修会を行いました。

流域治水の取組

講師 流域治水課長

金田 剛紀

近年、気候変動の影響を受けて浸水被害が増加傾向であり、被害が出た地域のみでの治水対策ではなく、そこを含む流域全体で取組む「流域治水」の考え方で治水計画が作られています。

現在では、気候変動を考慮した河川整備計画の見直しがなされており、「河道配分流量」「洪水調節流量」ともに1.15倍から1.2倍に引き上げる整備内容等が検討されています。

今後は「流域総合水管理」という考え方のもと治水を考えなければならぬ事も学びました。



JAみいとの意見交換会

テーマ JAみいの合併について

令和8年1月21日JAみい組合長、専務、常務に同席を頂き、令和8年4月1日付けで施行される、JAみい・JAにじ・JAくるめの3JA合併を中心に、小郡市が抱える農業課題と解決策について、意見の交換を行いました。

新JAビジョンでは『久留米北地区3JAは、経営資源を1つに結集することで持続可能な農業振興と地域の活性化に貢献する』とうたっています。組合員の高齢化や地域コミュニティの弱体化が進む中で、合併効果を期待する一方、委員からは農協の本店が久留米になり、また店舗統廃合が行われて、JAが組合員にとって遠い存在になるのではないかとといった心配



や、理事の定数が減ることから、従来理事が果たしていた地域とJAを結ぶ機能が弱くなるのではないかとといった意見が出ました。高齢化に伴う担い手不足や食料自給率の低下、気候変動など厳しい状況にある中で、農業経営の効率化と安定の推進について新JAには新しい発想と実践が求められていることを確認し、意見交換会を終えました。

市議会

庁舎建設特別委員会 報告

2月16日、委員全員出席のもと関係部課長・係長の出席を求め、新庁舎建設に向けた審議会の進捗について説明を受けた。

◆審議会のこれまでの経過

- R7.11月26日 第1回審議会 現庁舎の概要・課題について認識を共有
- R8. 1月29日 第2回審議会 新庁舎の役割・機能について審議
- R8. 3月下旬 第3回審議会 役割・機能の意見整理・庁舎規模の考え方を提示

◆審議会のこれからの予定

令和8年度は、規模・位置について審議し、9月頃の答申を予定。
令和9年度にかけて、財源の見通しを立て、視察を踏まえ、基本方針、基本構想を策定し、基本計画、基本設計、実施設計に進んでいく。

委員会では、財源の見通しについて質疑を行い、規模・場所・機能が明確になる中で予算の上限や財源を踏まえた基本方針・基本構想を策定するとの説明を受けた。

今後も、審議会と歩調を合わせ情報共有を図りながら、市民の声を反映し、新庁舎建設に向けた責務を果たしていく。

議会って何？を体験した一日

■三国小の6年生が議場を見学！

2月12日、三国小学校の6年生159人が2つのグループに分かれて議場を見学しました。毎年行われる行事です。

■市の仕事や議会の役わりを学びました

はじめに、市役所と議会の仕事について説明しました。少し緊張していた子どもたちも、だんだん笑顔になっていきました。

■元気いっぱい質問が つぎつぎと！

質問タイムでは手がたくさん上がり、質問タイムでは手がたくさん上がり、「どんな仕事がありますか」「やりがいは？」「ぶついたら議員になれますか」など、するどい質問が次々と出ました。議員の年れいや給料など、思わずドキッとする質問もありました。

■若い世代が政治にふれる大切な時間

市議会では毎年、高校生とも意見交換を行っています。若い人が政治に関心を持つことが、未来のまちづくりにつながると考えています。三国小学校のみなさん、来てくれてありがとうございました。



おごおり議会だより 表紙写真を募集します！



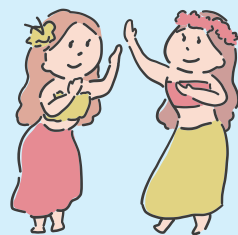
開かれた市議会を目指し、
より市民に親しまれる市議会だよりにするために、
年4回(6月・9月・12月・3月)発行の
「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。
みなさまのご応募をお待ちしています。



小郡市内在住、もしくは市内でご勤務されている方、
市内に通学されている方、どなたでもご応募可能です。
市内の行事、四季の風景など記念に
議会だよりの表紙を飾ってみませんか？



応募資格、応募方法、応募条件、注意事項は
小郡市議会ホームページに記載の
募集要綱をご覧ください。



ご応募いただいた
写真の一例です。





3月定例会一般質問通告一覧表

個人質問													代表質問	
2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	1
学童保育の現状と課題について 文化芸術振興の取り組み・文化協会のかかりについて	「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」並びに「小郡鳥栖南スマートインター周辺まちづくり構想」について 第2次小郡市食料・農業・農村基本計画について	重層的支援体制の構築について	人材育成について	小郡市の産業構造の10年前と現在について	誰一人取り残さない地域共生社会について	個人情報保護と地域福祉活動の推進について	三井消防署建て替えと署員定数について 市の地震対策と対応について	小郡市こどもの権利条例の制定の意義について 給特法改正による学校の働き方改革について	自治会加入の促進について	小学校への冷水機導入について 緊急通報システムの見直しについて	組織機構見直し・係制廃止・グループ制導入について	小郡市における財政状況の現状と将来の見込みを問う	宝満川左岸地域の人口減対策・地域振興について のーと小郡について	施政方針や市の取り組みについて
大場 美紀	立山 稔	田中 雅光	後藤 理恵	佐藤 源	川野 悦子	黒岩 重彦	小野 壽義	新原 善信	深川 博英	甲斐田典彦	橋間 順平	高木 良郎	自由の風 佐々木益雄	みらいの会 山田 忠

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。
会議録については、令和8年6月上旬頃より議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館で
ご覧いただけます。



みらいの会
山田 忠



議員
施政方針や市の取り組みについて問う

市長 移住定住策では、つながるまち小郡の実現こそが交流人口、関係人口の増加、



自由の風
佐々木益雄



議員
宝満川左岸地域の人口減対策を問う

市長 環境整備と併せ、持続可能で賑わいのある地域再生を目指していきたい。

そして移住定住の促進につながるかと考える。第三の学び場づくりでは児童生徒が心のエネルギーを充電できる場所として構想を進めている。子育てに良いまちづくりでは、教育を市のアピールポイントと考えている。

部長 未来を拓く力を育む教育では具体的にこどもたちのどんな姿を目指すのか。

教習長 一つには、目標に向か

部長 国の職員が各地域に出向き地域の実情に応じた解決を一緒に取り組む制度。

部長 市のオンライン会議や現地訪問活動の実施内容は。

部長 会議7回、現地訪問3回意見交換を行い、支援官が感じた提案がされている。

議員 のーと小郡について問う

市長 運行事業者と連携を図り、素早い改善に努め、利用者のよりよい公共交通サービス提供に取り組む。

ってたくましく進もうとする姿、二つには、人とつながり合って学び合おうとする姿、三つには、ふるさと小郡を大切にしたいという郷土愛を高める姿を目指す。

部長 小中学校すべての学校で学校運営協議会を設置し、地域と共にある学校づくり

部長 豊かなこども・子育てに各自治会や学校との情報の共有化は図られているか。

副市長 多様な課題解決、制度設計に取り組んでいく。

部長 農地に関係なく企業誘致や住宅建設など、地域未来投資促進法の活用は。

部長 委託料が高くなっているが、のーと小郡に変更したことで成果と課題は。

部長 運行範囲に隔たりがなく、広く市民に移動サービスを提供できている。課題は、希望する時間帯に予約ができない、予約方法でアプリなどの心理的なハードルが高いなどがある。

を進めている。

部長 地域学校協働活動推進員が中心になって学校と地域をつなげている。

部長 不登校対策協議会では、校内教育支援センターの成果をどう分析しているか。

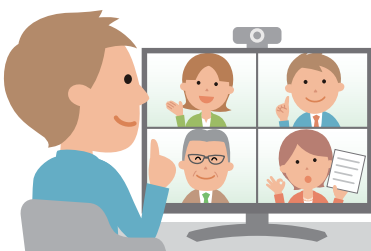
部長 高齢者の手続きや利用方法などのアドバイスは。

部長 不登校者数、不登校兆候が見られる児童生徒数は減少傾向にある。



校内教育支援センター（小郡小）の様子

部長 職員が出向き各校区の集まりや一般の方への説明会、SNS、HPへ掲載。





自由の風
高木 良郎



議員 小郡市の歳入・歳出の課題を問う

部長 人件費・物価・扶助費などの社会保障費も増大し歳入・歳出は増加傾向だ。

現在の市債残高を問う。

部長 現在195億6千万円を見込んでいます。

給食センター建設運営の総額、起債、借入額の総額と利率を問う。

部長 総額は49億7千万円で利率は3.5%である。

令和4年の説明は34億4千万円だった。物価上昇で最

後は54億円になるか。

部長 検証はしていない。

更に金利も上がるのでは。

部長 その可能性を前提として事務を進めていく。

体育館建設費が30億円から現在に至る経緯を問う。

部長 平成29年に6千㎡30億円で計画、現在61億円。

体育館入札不調で建設費用も70億円を超えるのでは。

部長 試算していない。

庁舎建設で筑後市を例にとると土地なしで百億を超える事業費であり小郡市では120億を超えるのでは。

部長 まだ検討していない。

庁舎入れて約250億円の借金が増えるのでは。

部長 各施設の事業費としては、そのような形になると思う。



借金まみれになった時に、市民生活は大丈夫だろうか



自由の風
橋間 順平



議員 組織見直しとグループ制導入を問う

市長 実効性のある組織体制の下で具体的な事業を推進し、結果が出ている。業務

量が年々増大し、限られた人員で効率的な組織運営や職員の働き方の環境整備に向けて係制を廃止し、グループ制を導入する。

組織を見直す目的や、組織構造と経営戦略の運用改善メリットについて尋ねる。

部長 組織を見直して、機構を改革することはやらなくてはいけない。期間は分からないが、人を充てて、目

的を持って事務を行っていく。

組織のスリム化と外部委託、DX、行政事務委託について尋ねる。

部長 外部委託は、窓口業務を皮切りに業務を拡げている。行政事務センターにノンコア業務を外部委託する。DX、RPAを使って行政事務を自動化して、申請の事務処理を軽減する。ノン

コアとコアを大別し、どのような業務を委託できるのか、時間をかけて仕分けし具体的に選別を進めている。

グループ制は責任の曖昧性があり、中間管理職の負担が大きいと思われるがどう考えるか。

副市長 グループ制は、業務をグループとして、課内の中で、共有する考え方だ。課の業務はみんな分かち合

い、全員で対応できる。不在者がいても、業務は一定充足で進めようと思う。



心理的負担を掛けない組織改革



公明党
甲斐田 典彦



議員 小学校へ冷水機を導入できないか

教養長 衛生管理、費用面の効果、課題を調査研究。他自治体の導入状況を注視検討。



みらいの会
深川 博英



議員 自治会加入促進について問う

市長 自治会加入に関し様々な課題があることも把握している。加入促進のため、

現段階で検討の内容を問う。

部長 県内は設置が進んでいない。設置の学校は企業版ふるさと納税の活用、企業との協定締結など様々な手法で設置事例を調査中。

設置で大きな水筒持参は不要。他市で児童が水筒持参で転倒し事故が発生。本市では事故の事例はあるか。

部長 事故の事例はない。

全校一斉ではなくモデル校で試験導入できないか。

部長 熱中症対策として設置は有効。どういう形で試験導入できるか検討する。

議員 緊急通報システムの見直しについて問う

市長 固定電話回線がなくなっても利用できるサービスの検討が必要。新しい技術、機能を調査し高齢者の家庭内での安全・安心を確保する

様々な取組みを検討する。

システムの仕組み・対象者・設置者数は。

部長 自宅に設置した機器のボタンで、緊急時にコールセンターへ通報し会話ができる仕組み。65歳以上の単身・高齢者世帯で疾病、見守りが必要な方。10名。

携帯型緊急通報システムの導入はいつ頃までに検討か。

小都市の自治会の加入率は。

部長 現在、把握できてない。

自治会の加入率を把握しておくべきでは。

部長 今後の自主活動も含め、地域福祉活動など多くの内容を検討する上で、市としても、一定把握する必要があると考えている。

自治会に加入していない場合

いろんな悪影響が出ることは想定されるか。

部長 地域のコミュニティの希薄化が進み地域の見守りや災害時に公助の手が及ばないことが想定される。

転入届を受け付ける際に、市民課で自治会加入の促進を行っているか。

部長 三井高校と作成したチラシの配布など、自治会活

部長 令和9年度中までに結論。



緊急通報システムイメージ

動を、より知っていただけるようなことを進めていきたい。





新原 善信



議員 こどもの権利条例制定の意義は何か

市長 こどもは権利の主体であることを周知し、こども施策の基本理念となる。

大事にしたことは何か。

部長 こども・若者の声を織り込み、わかりやすい表現にした。

どんな声があったか。

部長 自分のことは自分で決めたい、もっと意見を聞いてもらいたいなどがあった。

遊ぶ権利、休む権利の状況はどうか。

部長 コミュニティの希薄化などで遊ぶ、休む環境は十分ではないと考えている。安心して遊べる居場所づくりを推進していく。

議員 給特法改正で講ずべき措置は何か

教育長 業務量管理・健康確保措置実施計画の策定を進めている。

法定休憩時間の取得状況は。

制になったが。

部長 消防本部で策定した定員管理計画で年次的に増員している。

議員 市の地震対策と対応は

市長 去年10月に福岡県が地震に関する防災アクセスメント調査の結果が公表され、警固断層の最大震度が7に変わり、既に大規模震災対

部長 十分取れていない場合があると認識している。

持ち帰り仕事の内容は。

部長 授業準備にかかわるものが多い。

指針ではどうなっているか。

教育長 原則あつてはならないとなっている。

進捗管理検証はどうするか。

応ガイドラインの作成に着手している。併せて地域防災計画見直しを進めている。

避難所の運営、設営は。

部長 地震避難所は市内に28ヶ所あり、長期避難に備えて環境改善を進めている。

震度7の地震で橋が崩落する可能性を考え、災害備蓄品を市内宝満川の東側、西側にある倉庫に分散しては。

教育長 毎年達成値を確認しながら、目標を目指していく。



こどもの遊び育つ権利



小野 壽義



議員 三井消防署建て替えと署員定数は

市長 久留米広域消防本部が令和9年竣工予定で進め、訓練研修施設、資材備蓄倉

庫機能を有した庁舎整備により、防災体制の充実強化が図られる。また、女性専用浴室やトイレ、更衣室が設置され女性職員へ配慮した環境整備が行われる。

三井消防署の名称変更は。

部長 所在地である小郡消防署を提案している。

三国出張所が1名増の6名になり、3名3名の専任体



建て替え中の三井消防署

部長 どんな状況にも耐えられるように、分散備蓄する場所と量は判断していく。



みらいの会
黒岩 重彦



議員
個人情報保護して
の地域福祉活動は

市長 本市における地域福祉活動の中で、個人情報提供しているものとして、高

齢者の見守り活動や災害時の避難支援などがあり、本人合意の下、対象者の個人情報を取引として整備し、地域内の見守りのために、必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。

情報の共有化をどのように進めているのか。

部長 見守り活動に必要な範囲内で必要最小限度の共有を条件に、本人から同意し

ているものについて、その同意の範囲内で共有化している。

見守り支援台帳の現状と課題は。

部長 見守り支援台帳の対象者が7千名近くいる中で、個人情報の同意を得た方が32%しかないのです、今後、活動をアピールして、同意を得られるよう努めていく。

個別避難計画の現状と課題は。
部長 作成率は約1割程度に留まっているので、防災リーダーの養成など自主防災組織の活動を活性化させて個別避難計画の作成率を上げていきたい。

自助教育を推進するには。

市長 情報も大事だが、日頃からのつながりや託すこと

ができる地域の方を作り、両面一緒に努力していく必要がある。



個人情報の保護と活用のバランスが大事な地域福祉



おごおり創志会
川野 悦子



議員
重層的支援体制整備
事業の方向性は

市長 参加支援や地域づくりに向けた支援について、さらに力を入れて取り組んで

いくとともに、地域共生社会の実現に向けて本事業の制度の充実を図り、制度設計を進化させていきたい。

参加支援に繋がったケースはあるか。

部長 多機関協働事業では、参加支援の実績はない。

参加支援につなぐ役割は十分に果たしていないという認識でよいか。

部長 国が定めている形ではできていない。

居場所づくりは、支援の方向性をどう考えているのか。

部長 既存の社会資源、地域資源の拡充や地域での多様な居場所づくり、新たな地域資源の発掘などを今後も進めていきたい。

重層的支援体制整備事業は、市民の生活に直結した大事

な役割だ。しっかりと仕組みを構築できないか。学ば場として機能させながら相談にも来てもらい、既存団体は、これまで通り繋いでいただき重層的支援の会議につなぐ形にしていくことの考えは。

部長 意見を参考に今後、組立てについて検討したい。

具体化できるよう、第一歩として小規模でやっていき、できることから広げ、大き

くしていくことを念頭に内容を参考にしていきたい。



支え合いが広がるまちづくりを!



おごおり創志会
佐藤 源



議員
産業構造の変化をどう予測しているか

市長 優良農地を生かした農業を基本に、交通の利便性の高さを生かした物流のみ

ならず、製造業系や先端技術系の誘導、さらに、まちのにぎわいや雇用を生み出す民間の力を招き入れることで、調和の取れた産業構造を目指していきたい。

10年前と比較して就業人口はどう変化しているか。

部長 令和2年の国勢調査によると、就業人口が2万8936人、第三次産業が全体の79%で2万3027人、

二次産業が16%で4851人、一次産業が4%で1058人。10年前と比較すると、就業人口は増加しているが、構成比率としてはほとんど変化が無い。

前回質問したとき、第六次産業を今後は増やしていかないといけない、小郡市の目指すところはその辺りもある。ということだったが、なかなか目に見えてこない。どうなっているのか。

部長 六次化に結びつく新たな特産品が出るような取組ができていくという状況はない。

六次化、どこまで市が追うのか。

部長 毎年度、予算を計上して取り組んでいる。全国的に有名な産物ができたかと言え、それはないと思うが、こういう取組を継続し、小郡市の特産品と言われる

ような物ができてくるように支援していきたい。



みらいの会
後藤 理恵



議員
人材育成基本方針策定の目的や根拠は

部長 地方公務員法の第39条第3項に基本指針を定めるものとし、またその1項に

国から新たに出された策定指針の特徴は。

は、職員の勤務効率の推進や発展という形で研修を受けさせることが明記されている。本市は平成14年に策定している。

針という名称に変わり、人材の確保、職場環境、そしてデジタル人材育成確保が変更点になっている。

働きやすい職場の雰囲気を整備については。

部長 これまで問題となっている長時間労働をどう改善するかは大事な部分である。また、職場環境に大きく影響する職場内のハラメントの対策、さらには、

今後、機構改革において、人材育成専門部署の設置については。

職員のリフステージに合わせられるような勤務体系を今後検討していく必要がある。

市長 重要性は認識しており、まさに人材は、コストではなくて投資である。人を確保できるかどうか、行政サービスを安定的に、継続的

にやれるポイントであり、意識を持ちながら、大事に職員を育てていく。





公明党
田中 雅光



議員
重層的支援体制の構築について問う

市長 社会の実現に向けて包括的な支援体制を整備するため、重層的支援体制整備

事業を開始した。生活困窮やひきこもりなど様々な課題を抱えた方々への支援を各相談支援機関で連携しながら取り組んでいる。

福祉総合相談窓口の設置について問う。

部長 福祉総合窓口については、有用だと考えている。市民が相談しやすい環境をつくっていききたい。

重層的支援体制整備事業の実施計画を作る予定はないのか。

部長 具体的な内容や時期については未定だが、他の自治体を参考にしながら、計画を作る方向で検討を始めた。

対象者の実態調査について何度も提案しているが実施しないのか。

いて、地区計画制度を活用した物流施設の計画が現在、進んでいる。

副市長 実態を把握しなければ、何をすべきかというところに行きつかないのが重要性は認識している。有効性や法的問題など、調査研究なので少し時間がほしい。

コミセンの生活支援コードイネーターの位置づけが分かりにくいがどうか。

副市長 重層的支援事業が始まったとき、コミセンとコミセンの職員を位置づけस्ता

計画人口が約430人程度となっている。

小郡鳥栖南スマートインターチェンジ周辺まちづくり構想では、以前、全体で20ヘクタール程度の調整池をつくる計画を見せてもらったが、進捗状況はどうなっているか問う。

部長 調整池に関しては、小郡市の独自基準を設けて、なるべく現在の集落に、今

よりも冠水状況がひどくならない対策をきちんとしながら進めていきたい。



ートしたが、事業との関係が本来の目的と異なるので今後整理していきたい。



おごおり創志会
立山 稔



議員
インター周辺まちづくり構想は

市長 構想は、まちづくりゾーン、生活にぎわいゾーン、新たな魅力創出ゾーン、面

筑後小郡インターチェンジ周辺で、農業共生ゾーンの動向について問う。

的整備推進ゾーン、農業共生ゾーン、交流ゾーンの6つのゾーニングによる計画的な土地利用を設定している。

部長 農業共生ゾーンについて

では、3つのエリアに分けており、そのうち農産物加工・保管・物流エリアにお

他のゾーンで、現状で開示できる情報があれば、教えていただきたいが。

部長 立石中学校北側のエリアで、定住人口の受皿となる住宅開発の計画が進められている。計画面積が約5

ヘクタールで、住宅の数が約150戸予定されており、



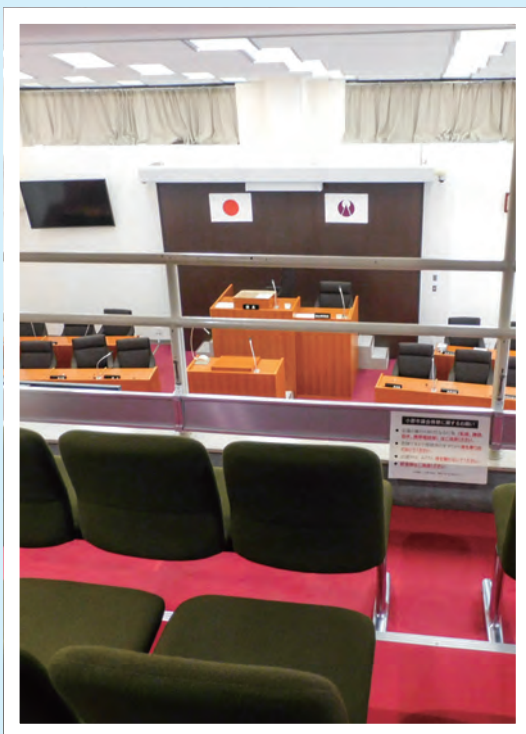
小郡市議会予算・決算審査特別委員会のインターネット中継が始まります。

小郡市議会では、本会議の他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を傍聴することができます。

また、小郡市議会のホームページから、本会議（過去5年間）及び常任委員会の生中継・録画映像をご覧になれます。

令和8年9月から、予算・決算審査特別委員会の生中継もご覧いただけます。

ぜひ、ホームページで生中継・録画映像をご覧いただき、皆さまのお声を聴かせて下さい。



おごおり創志会
大場 美紀



議員 利用増加に伴う児童保育の現状と課題は

市長 通年保育、長期休暇のみ保育、ともに待機児童が発生する見込み。支援員の

確保を図り、学校の活用について、学校と連携し待機児童解消に努める。

アンケートをどう反映しているか。

部長 いじめの早期発見や環境改善、本や遊具の更新・新調などを実施している。

夏場の弁当の管理法は。

部長 保冷剤を入れて持参。

さらに、エアコンが当たる場所で保管している。

給食や宅配の導入は。

部長 他自治体を踏まえ検討。

議員 市民文化祭の新たな取り組みとは

部長 一般募集と文化協会加盟団体の発表の期間を分けて実施予定。11月7日から15日にかけて実施することを計画している。

文化協会をパートナーとして、市はどのような役割分担をしているのか。

部長 地域に根差した活動を担う、文化振興の重要なパートナーであり、共催事業を通して、実演や普及啓発等の役割を担っていただいている。

なくなった施設使用料の減免など、再検討できないか。

部長 受益者負担は理解いただきたいが、文化振興につながる催しは検討したい。



令和8年3月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第1号	専決処分を報告し、承認を求めることについて（令和7年度小郡市一般会計補正予算（第7号））	承認
議案第2号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について	可決
議案第3号	久留米市との久留米広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第4号	小郡市減債基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	小郡市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	小郡市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号	小郡市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号	行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
議案第10号	小郡市こどもの権利条例の制定について	可決
議案第11号	令和7年度小郡市一般会計補正予算（第9号）の承認について ※	可決
議案第12号	令和7年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の承認について	可決
議案第13号	令和7年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）の承認について	可決
議案第14号	令和7年度小郡市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）の承認について	可決
議案第15号	令和7年度小郡市下水道事業会計補正予算（第5号）の承認について	可決
議案第16号	令和8年度小郡市一般会計予算の承認について	可決
議案第17号	令和8年度小郡市国民健康保険事業特別会計予算の承認について	可決
議案第18号	令和8年度小郡市後期高齢者医療特別会計予算の承認について	可決
議案第19号	令和8年度小郡市介護保険事業特別会計予算の承認について	可決
議案第20号	令和8年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の承認について	可決
議案第21号	令和8年度小郡市下水道事業会計予算の承認について	可決
議案第22号	小郡市立学校給食センター整備運営事業変更契約の締結について	可決
議案第23号	市道の認定、廃止及び路線変更について	可決
議案第24号	小郡市の公の施設を基山町の住民の利用に供させることに関する協定について	可決
議案第25号	控訴の提起について	可決
議案第26号	令和7年度小郡市一般会計補正予算（第8号）の承認について ※	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
委員提出第1号	政府に対し、イラン攻撃の早期事態収拾を関係国に働きかけることを求める意見書の提出について	可決

※議決事件の字句及び数字等の整理について

議案第26号を先議したことに伴い、議案第11号及び議案第26号に係る字句、数字等の整理を議会の議決により議長に委任されたため、会議規則第43条の規定に基づき議長において、議案第11号を「令和7年度小郡市一般会計補正予算（第8号）の承認について」から「令和7年度小郡市一般会計補正予算（第9号）の承認について」に、議案第26号を「令和7年度小郡市一般会計補正予算（第9号）の承認について」から「令和7年度小郡市一般会計補正予算（第8号）の承認について」に整理しました。

【賛否が分かれた案件】

●議長（井上勝彦）は表決に参加しません。

議員名 案 件	川野 悦子	内山 伸博	黒岩 重彦	甲斐田 典彦	橋間 順平	佐藤 源	深川 博英	小坪 輝美	小野 壽義	高木 良郎	大場 美紀	立山 稔	後藤 理恵	佐々木 益雄	田中 雅光	山田 忠	新原 善信
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

(賛成…○、反対…×)

6月定例会の会期日程(予定)

6月2日(火)	本会議(議案上程)	6月15日(月)	本会議(一般質問)
6月4日(木)	本会議(質疑)	6月16日(火)	本会議(一般質問)
6月8日(月)	総務文教常任委員会	6月17日(水)	本会議(一般質問(予備日))
6月9日(火)	保健福祉常任委員会	6月19日(金)	本会議 (委員長報告と質疑・討論・採決)
6月10日(水)	都市経済常任委員会		

編集後記

二年間、委員を務めさせていただきました。議会の動きをわかりやすくお伝えしたいという思いで、委員一同で向き合ってきました。

紙面づくりに試行錯誤を重ねた時間は、私にとって議会をより深く見つめる貴重な機会となりました。掲載した記事の一つひとつが皆さまの暮らしと議会をつなぐきっかけとなっていれば嬉しく思います。議会だよりを手にとってくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

新しい環境や新年度を迎え、変化の多い日々を過ごされている方もいらっしゃると思います。皆さまが健やかに、自分らしく過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

(川野 悦子)

議会広報特別委員会

- 委員長 佐藤 源
- 委員 川野 悦子
- 委員 内山 伸博
- 委員 甲斐田 典彦
- 委員 立山 稔
- 委員 山田 忠